

JSCA 指導者検定会 2018 千葉県小見川会場 報告書

報告者：平井剛（チーフ IT）

教養課程：2018 年 11 月 6 日～7 日 千葉県立水郷小見川少年自然の家

基礎課程：2018 年 11 月 8 日～9 日 千葉県立水郷小見川少年自然の家、黒部川

担当 IT：平井剛（サンデープランニング アウトドアスクール）

：紺野祐樹（アースクエスト）

：中村昭彦（一滴 Paddle & Mountain Guide）

主管：一滴 Paddle & Mountain Guide

研修：本橋洋一（サニーコーストカヤックス）

受験者数：教養課程 6 名、基礎課程 8 名（シーカヤック/6 名、リバーカヤック/2 名）

合格者数：教養課程 6 名、基礎課程 7 名

受験者全員がプロ活動をしている現役のインストラクターやガイドの受験でした。

【教養課程】

テキストだけを追っていき、単調にならないように場所を変えたり、道具を使ったりと工夫をしました。また、講師と受験生との距離間が離れないように会話がキャッチボールになるように努めました。

どの講義も飽きない内容で、それぞれの IT の个性的も生かされた講義でした。

受験生も吸収しようという気持ち、学ぼうという意欲が高く、集中して講義を聞いてくれました。質問も多かったと思います。

結果、どの教科も全員高い点数で問題ありませんでした。

【基礎課程】

・漕艇技術

受験生 8 名 2 艇種は時間がかかると予想していましたが、大きなロスも無く比較的早く終了できました。

検定員の点数も大差なく目合わせにも時間をかけずにスムーズに進められました。

検定後のフィードバックは、受験生にとってより良い時間になったと思います。

・指導技術

初級者（ベーシック検定）の VTR を見ながら、現状把握、原因究明、目標設定とコミュニケーションを課題に進行しました。

現役のインストラクターやガイドでもある今回の受験生のコミュニケーション能力は高かったです。技術分析はできるが、よりシンプルに分かりやすく伝えるという点が多くの方の課題だったようです。

【その他】

現検定会をよく把握している主管、IT で開催したこともあり、大きな問題も無く、進行できたと思います。

【主管】

昨年に引き続き 2 回目の会場利用ということもあって、多少事務的な流れはスムーズに行けたのではないかと思います。検定会開催中は大きなトラブルもありませんでしたし、担当トレーナーや研修に来ていただいた方の力添えもあり助かりました。今回受験された方々は締め切り内に申込書も送られてきましたし、その後の受験料の支払いも滞り無くやっていただけでした。ただし、その後のやり取りでメールでの反応がなかったこともありましたが、この業界で仕事をしていく以上、ゲストの方との連絡のマメさは大事になってきます。基本的な連絡作業は徹底して行ってほしいと感じました。また、事前講習会の重要性が年々上がってきていると感じます。もっと大々的に事前講習会を開催できる場所の告知が必要であると思います。

【IT 研修】

本橋洋一さん（IT 申請中）

教養課程の講義に参加し、意見や発言をしてもらいました。漕艇技術ではSKのデモと採点もしてもらいました。ITとしての検定進行、言動、技術観察分析など検定会の経験を重ね、1日も早いITとしての活動を期待しています。